



2022年11月11日

各 位

会 社 名 ナカバヤシ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 湯本 秀昭
(コード：7987 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画室長 瀬島 達哉
(TEL 06-6943-5555)

中期経営計画における計画値の再見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年5月13日付「中期経営計画の修正に関するお知らせ」で公表いたしました中期経営計画に関し、直近の業績及び現状の経営状況等を踏まえ、再度見直しを行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画値の見直しについて（2023年3月期の再見直し）

【単位：百万円・％】

	2022年3月期	2023年3月期 計画			2024年3月期 計画		
	(実績)	(当初計画)	(修正計画)	(今回見直し)	(当初計画)	(修正計画)	(今回見直し)
売上高	63,118	67,000	65,000	62,000	70,000	67,000	65,000
経常利益	2,336	3,400	3,000	2,000	3,850	3,400	3,000
経常利益率	3.7	5.1	4.6	3.2	5.5	5.1	4.6

2. 見直しの理由

計画2年目である2023年3月期第2四半期（累計）において、売上高につきましては、コンシューマーコミュニケーション事業の売上高は目標より184百万円上回ったものの、データプリントサービスなどのビジネスプロセスソリューション事業の売上高が、独占禁止法違反による排除措置命令及び課徴金納付命令で、一部の官公庁や市町村から指名停止処分を受けたことにより目標より897百万円下回りました。結果、当初公表数値を下回る結果となりました。

利益につきましては、売上高が目標を下回ったことに加え、原材料費の高騰、外国為替市場での急激な円安による輸入商品の仕入価格上昇により、原価率が目標より1.5ポイント上昇し、販売費及び一般管理費比率も目標を0.5ポイント上回ったため、経常利益は当初公表数値を下回る結果となりました。

昨年からの円安による輸入品価格の高騰や原材料費の高騰、原油を始めとする資源価格の上昇により、各種製造に関わる費用や運送費が値上がりしていることから、先行きが不透明な状況にあることを踏まえ、2023年3月期通期ならびに2024年3月期通期の数値目標を修正することと致しました。なお、計画達成に向けて、引き続き各種施策を展開してまいります。

(注) 上記の目標数値等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因によって目標数値等と異なる結果となる可能性があります。

以上